



LIONS NEWS

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 330-A

Vol.5 2022 May



「港区大使館カルタ」



- 子供たちに地域の特徴を知ってもらいたい -

東京赤坂 LC

<https://330a.jp/club/20220305.html>



東京マラソン 2021 沿道応援



東京柳橋 LC

<https://330a.jp/club/20220310.html>



保護犬猫施設支援



東京紀尾井町 LC すずらん支部
<https://330a.jp/club/20220313.html>



3.11~ あの時を忘れない～



東京江戸川南 LC
<https://330a.jp/club/20220319-1.html>



未来に繋げる

「秋川リバークリーンナップ活動」



東京マリア LC
<https://330a.jp/club/20220323.html>



ウクライナ難民支援募金活動



東京石泉 LC
<https://330a.jp/club/220328.html>

Club Activity

クラブアクティビティ



薬物乱用防止講習会



東京玉川 LC

<https://330a.jp/club/20220406.html>



Cabinet ・ Committee

キャビネット・委員会



未来への人たちへバトンタッチ 2022 作品募集



<https://330a.jp/committee/20220301.html>



2023~2025 年度 国際理事立候補者の公示

<https://330a.jp/cab/20220317-2.html>



国際理事立候補者



村木 秀之

むらき ひでゆき

第 2R・第 1Z 東京数寄屋橋 LC(会員番号 370531)

生年月日 1954 年 9 月 24 日 満 67 歳

住 所 〒1040061 東京都中央区銀座 2-14-5
第 27 中央ビル 3F

現職・職歴 株式会社むらき 代表取締役社長

出 身 校 日本大学 芸術学部

■ライオン歴

1988 年	東京数寄屋橋ライオンズクラブ入会 (チャーターメンバーでない)
1997 年 -1998 年	東京数寄屋橋ライオンズクラブ 第 32 代 会長
2001 年 -2002 年	330-A 地区 骨髄移植・献血・献腎・献眼委員会 委員長
2002 年 -2003 年	330-A 地区 今井キャビネット キャビネット幹事
2004 年 -2005 年	330-A 地区 山浦キャビネット キャビネット幹事
2008 年 -2009 年	330-A 地区 第 2R リジョン・チェア・パーソン、クラブ理事
2010 年 -2011 年	330-A 地区 難病対策支援特別委員会 委員長、クラブ理事
2011 年 -2012 年	330-A 地区 緊急対策委員会 委員長
2014 年 -2015 年	330-A 地区 第 2 副地区ガバナー
2015 年 -2016 年	330-A 地区 第 1 副地区ガバナー
2016 年 -2017 年	330-A 地区 ガバナー
2017 年 -2018 年	330 複合地区 会員増強・エクステンション委員会 委員長
2018 年 -2019 年	330-A 地区 LCIF キャンペーン 100 地区コーディネーター、クラブ理事 第 65 回年次大会委員会 委員長
2019 年 -2020 年	330 複合地区 国際関係・スペシャルオリンピック委員会 委員長
2020 年 -2021 年	330 複合地区 監 査
2021 年 -2022 年	330 複合地区 ガバナー協議会 議 長
メルビン・ジョーンズ・フェロー 60 回	

■主なアワード

国際会長賞 3 回

国際会長 リーダーシップ賞 2 回

国際会長 感謝状 9 回

2023~2025 年度 国際理事立候補者の公示

<https://330a.jp/cab/20220317-2.html>



国際理事立候補者



伊賀 保夫

いが やすお

第 1 R・第 2 Z 東京ピース LC(会員番号 3000674)

生年月日 1977 年 6 月 2 日 満 44 歳

住 所 東京都品川区東品川 3-8-8-2701

経 歴 藤井ギャラリー株式会社 代表取締役
公益財団法人東京都障害者スポーツ協会 理事
一般財団法人日本ライオンズ 理事・事務局長
一般社団法人東京地区ライオンズ 監事
元日本アイ・ピー・エム株式会社
元目黒区議会議員
早稲田大学教育学部卒
ボストン大学大学院卒
国際経営学修士 (MS)

■ライオン歴

2009 年 5 月 1 日 東京ワンハンドレッド ライオンズクラブ入会 (チャーターメンバー)
2009 年 -2010 年 330-A 地区広報委員会 委員 / クラブ理事
2010 年 -2011 年 クラブ幹事
2011 年 -2012 年 330-A 地区国際理事委員会 委員 / クラブ理事
2012 年 -2013 年 クラブ会長
2013 年 -2014 年 東京ピース ライオンズクラブ結成 (チャーターメンバー)
330-A 地区 家族会員増強委員会 委員 / クラブ理事
2014 年 -2015 年 330-A 地区キャビネット副幹事 / クラブ理事
2015 年 -2016 年 330-A 地区 1R2Z ゾーン・チェアパーソン / クラブ理事
2016 年 -2017 年 330-A 地区クラブアクティビティ活性化プロジェクト委員会 委員長
2017 年 -2018 年 330-A 地区第 2 副地区ガバナー
2018 年 -2019 年 330-A 地区第 1 副地区ガバナー / 短期ビジョン委員会 委員長
2019 年 -2020 年 330 複合地区ガバナー協議会 会計
330-A 地区 地区ガバナー / LCIF 地区コーディネーター
2020 年 -2021 年 330 複合地区 GMT コーディネーター
330-A 地区 前地区ガバナー・名誉顧問会 議長
2021 年 -2022 年 330 複合地区 GMT コーディネーター (GMA 世話人)
330-A 地区 元地区ガバナー・名誉顧問
メルビン・ジョーンズ・フェロー 136 回

■主なアワード

2014 年 -2015 年	ジョー・プレストン	国際会長 感謝状
	バリー・バーマー	LCIF 理事長 感謝状
2016 年 -2017 年	ボブ・コーリユー	国際会長 感謝状
	山田寛紘	LCIF 理事長 感謝状
2017 年 -2018 年	ナレシュ・アガワル	国際会長 感謝状 (2 回)
	ボブ・コーリユー	ガバナーチーム優秀賞 (第 2 副地区ガバナー)
		LCIF 理事長 感謝状 (2 回)
		LCIF 理事長サークル (ブロンズレベル)
	★セカンドセンチュリー・アンバサダー (取得 #0571)	
2018 年 -2019 年	グドラン・イングバドター	国際会長 感謝状
		ガバナーチーム優秀賞 (第 1 副地区ガバナー)
2019 年 -2020 年	ナレシュ・アガワル	LCIF 理事長サークル (ブロンズレベル) / 感謝状
	ジュン・ヨル・チョイ	国際会長 感謝状
		ガバナーチーム優秀賞 (地区ガバナー)
2020 年 -2021 年	グドラン・イングバドター	LCIF 理事長サークル (ゴールドレベル) / 感謝状
	ジュン・ヨル・チョイ	国際会長感謝状
	グドラン・イングバドター	LCIF 理事長サークル (ブロンズレベル) / 感謝状
		LCIF Helping Hands
2021 年 -2022 年	ジュン・ヨル・チョイ	2019-2020 地区ガバナーエクステンションアワード
	グドラン・イングバドター	LCIF キャンペーン 100 リードギフト 100,000 ドルアワード
※その他		・シカゴ国際本部スタディツアー参加 (2 回 :2015 年・2018 年)
		・LDUN 国連ライオンズデー参加 (2016 年 ニューヨーク)
		・公認ガイディングライオン (4 回取得)
		・1R2Z 東京一ツ橋 LC ガイディングライオン (2016 年 ~2018 年)
		・GAT(グローバルアクションチーム) 日本運営会議 事務局 (2017 年 ~)
		・LCIF キャンペーン 100 リードギフト (10 万ドル) 達成 (2019 年)
		・大会参加歴 : 国際大会 11 回 / OSEAL フォーラム 11 回



増田 正明

ますだ まさあき

第13R・第2Z 東京田無 LC (会員番号 3337045)

生年月日 昭和26年12月20日 満70歳

住 所 〒187-0002 東京都小平市花小金井5-2-19-305

現職・職歴 一般社団法人セカンドライフ支援協会 代表理事
日本ギャランティ株式会社 代表取締役

■ライオン歴

2011年2月23日	東京田無ライオンズクラブ入会
2012年~2013年	330-A地区 広報委員会 委員
2013年~2014年	クラブ会計
	330-A地区 キャビネット副幹事
2014年~2015年	クラブ理事
	330-A地区 キャビネット事務局長
	330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員
2015年~2016年	クラブ会長
	330-A地区 指導力育成委員会 SPA
	330 複合地区 指導力育成委員会 副委員長
2016年~2017年	クラブ理事
	330-A地区 指導力育成委員会 アドバイザー
	330 複合地区 プロトコール委員会 副委員長
2017年~2018年	クラブ幹事
	330-A地区 13R2Z ゾーン・チェアパーソン
	330 複合地区 健康促進委員会 副委員長
2018年~2019年	クラブ理事
	330-A地区 13R リジョン・チェアパーソン
2019年~2020年	クラブ理事
	330-A地区 GLT 地区副コーディネーター
	330 複合地区 GLT 委員会 委員
2020年~2021年	クラブ理事
	330-A地区 第二副地区ガバナー
	330 複合地区 ガバナー協議会参与
2021年~2022年	クラブ理事
	330-A地区 第一副地区ガバナー
	330 複合地区 ガバナー協議会参与
メルビン・ジョーンズ・フェロー 25回	

■主なアワード

2013年~2014年	ウェイン・マデン	国際会長感謝状
2014年~2015年	ジョー・プレストン	国際会長リーダーシップ賞
2017年~2018年	ボブ・コーリユー	LCIF 理事長感謝状
その他		
2019年1月	シカゴ国際本部「LCI スタディツアー」参加	
2019年3月	日本ライオンズ主催「次世代リーダーシップセミナー」参加	
2020年10月	上級ライオンズ・リーダーシップ研究会「ALLI」参加	



第1副地区ガバナー立候補者



阿部 かな子

あべ かなこ

第1R・第2Z 東京ピースLC(会員番号 3000609)

生年月日 昭和35年8月4日 満61歳

住 所 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-10-1-2616

現職・職歴 宝塚歌劇団入団

女優業を経て

株式会社トップチャンネル設立 代表取締役

■ライオン歴

2009年5月1日 東京ワンハンドレッドライオンズクラブ入会(チャーターメンバー)
 2009年-2010年 クラブ理事
 2010年-2011年 330-A地区 女性参画委員会 委員
 クラブ理事
 2011年-2012年 330-A地区 難病支援対策委員会 委員
 クラブ理事
 2012年-2013年 330-A地区 キャビネット副幹事
 クラブ理事
 2013年-2014年 東京ピースライオンズクラブ結成(チャーターメンバー)
 クラブ会長
 2014年-2015年 330-A地区 東日本復興支援委員会 副委員長
 ・クラブ理事
 2015年-2016年 330-A地区 FWT 副コーディネーター
 クラブアクティビティ活性化プロジェクト委員会 委員長
 クラブ理事
 2016年-2017年 330-A地区 FWT 副コーディネーター
 クラブ理事
 2017年-2018年 330-A地区 FWT コーディネーター(任期1/2年)
 クラブ理事
 2018年-2019年 330-A地区 FWT コーディネーター(任期2/2年)
 クラブ理事
 2019年-2020年 330-A地区 キャビネット会計
 クラブ理事
 2020年-2021年 330 複合地区 FWT コーディネーター
 クラブ理事
 2021年-2022年 330-A地区第2副地区ガバナー
 メルビン・ジョーンズ・フェロー 6回

■主なアワード

2010年-2011年	330-A地区	会員増強大賞
2010年-2011年	330 複合地区	会員増強最優秀賞
2013年-2014年	330-A地区	会員増強優秀賞
2015年-2016年	330-A地区	会員増強最優秀賞
2017年-2018年	国際協会	GAT アワード
2017年-2018年	ナレシュ・アガワル	国際会長 感謝状
2018年-2019年	グドラン・イングバドター	国際会長賞
2018年-2019年	グドラン・イングバドター	国際会長感謝状
2019年-2020年	ジュンヨル・チョイ	国際会長リーダーシップ・アワード

その他

グランドマスターキー賞 スポンサー 61名(エクステンション実績を除く)

公認ガイディングライオン

薬物乱用防止教育講師



第2副地区ガバナー立候補者



松浦 辰吉

まつうら たつよし

第10R・第1Z 東京表参道LC(会員番号 2445043)

生年月日 昭和27年5月18日 満69歳

住 所 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-9-2-501

現職・職歴 シン・インターナショナル株式会社 代表取締役

■ライオン歴

- 2005年12月17日 東京原宿ライオンズクラブ入会
- 2006年-2007年 クラブ幹事
- 2007年-2008年 クラブ運営委員長
- 2008年-2009年 330-A 地区社会・障がい者福祉委員会委員
- 2009年-2010年 クラブ会長
- 2010年-2011年 クラブアクティビティ委員長 / 330-A 地区社会・障がい者福祉委員会委員
- 2011年-2012年 330-A 地区第10R 第1Z ゾーン・チェアパーソン
- 2012年-2013年 330-A 地区社会福祉・障がい者支援委員会副委員長
- 2013年3月12日 東京表参道ライオンズクラブ エクステンション / クラブ会長
- 2013年-2014年 クラブ会長 / 330-A 地区社会福祉障害者支援委員会副委員長
- 2014年-2015年 330-A 地区社会福祉障害者支援委員会副委員長
- 2015年-2016年 330-A 地区社会福祉障害者支援委員会副委員長
- 2016年-2017年 330-A 地区社会福祉障害者支援委員会副委員長
- 2017年-2018年 330-A 地区社会福祉障害者支援委員会副委員長
- 2019年-2020年 330-A 地区ドレミファダンスプロジェクトリーダー
- 2020年-2021年 クラブ会長
- 2021年-2022年 330-A 地区第10R 第1Z ゾーン・チェアパーソン
- 2006年-2022年 クラブ理事会構成員



第2副地区ガバナー立候補者



杉原 省吾

すぎはら しょうご

第3R・第3Z 東京ドリームLC(会員番号 2439988)

生年月日 昭和45年7月10日 満51歳

住 所 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 5-7-9

杉原ビル 401号室

現職・職歴 株式会社 総合建装

1992年 杉並塗装として創業

2003年 有限会社杉並塗装設立 代表取締役社長就任現在に至る

2003年 建設業許可東京都知事許可(般-15)119745号

2004年 株式会社総合建装に組織変更

2005年 建設業許可東京都知事許可(般-17)119745号

2005年 ISO9001:2000 認証

2007年 新社屋(自社ビル)完成

2007年 建設業許可東京都知事許可(般-19)第128846号

2010年 平成22年2月22日日本国籍取得

2013年 ISO14001:2004 認証

■ライオン歴

2005年12月23日 東京豊島ライオンズクラブに入会
2015年9月1日 東京渋谷ライオンズクラブに転籍
2018年4月4日 東京赤坂ライオンズクラブに転籍
2018年6月20日 東京ドリームライオンズクラブを結成(チャーターメンバー)
2011年-2012年 クラブ 第二副幹事(理事)
2012年-2013年 クラブ 第一副幹事(理事)
2012年-2014年 キャビネット薬物乱用防止委員会 委員(2期連続)
2013年-2014年 クラブ 幹事
2014年-2017年 キャビネット薬物乱用防止委員会 副委員長(3期連続)
2015年-2016年 クラブ 第二副会長
2016年-2017年 クラブ 第一副会長
2017年-2018年 キャビネット薬物乱用防止委員会 委員長
2018年-2020年 東京ドリームライオンズクラブ 初代会長(2期連続)
2019年-2020年 キャビネット会員増強委員会 副委員長
2020年-2022年 クラブ 会計(2期連続)
2021年-2022年 第3R 第3Z ゾーンチェアパーソン
メルビン・ジョーンズ・フェロー 5回

■主なアワード

2015年-2016年 10Year Monarch Chevron Award
2018年-2019年 Membership Key Award
2019年-2020年 Membership Advancement Key Award
2020年-2021年 15Year Monarch Chevron Award
MJF Contributing Membership Bronze
Bronze Contributing Member Pin
Donor Pin-Immediate Recognition
Donor Pin Rocker-Lion of Action Pin
Donor Pin Rocker-Lion of Commitment Pin
C100 Lion of Commitment Plaque



第2副地区ガバナー立候補者



中村 安次

なかむら やすじ

第8R・第2Z 東京巣鴨LC(会員番号 424296)

生年月日 昭和39年8月30日 満57歳

住 所 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 5-41-11

現職・職歴 株式会社プラナ 代表取締役

株式会社プリントランナップ 会長

リラクゼーションサロン・マーノ・マーニ

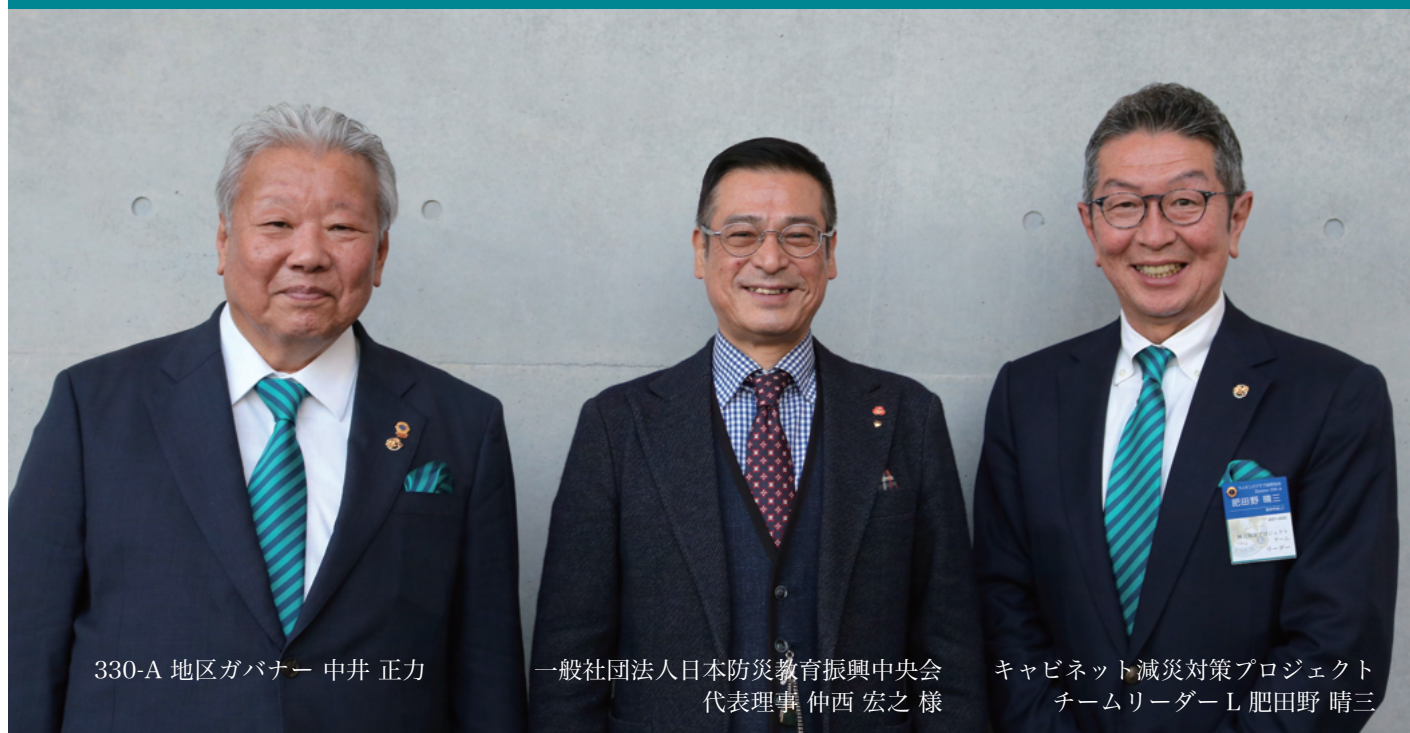
■ライオン歴

1998年6月1日 東京巣鴨ライオンズクラブ入会
 2005年-2006年 クラブ幹事
 2008年-2009年 330-A地区 キャビネット副幹事/クラブ理事
 2009年-2010年 クラブ会長
 2010年-2011年 330-A地区 女性参画・家族会員推進委員会 副委員長
 2011年-2012年 330-A地区 家族会員・女性参加推進委員会 副委員長
 2012年-2013年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 副委員長
 330-A地区 キャビネット副会計/クラブ理事
 2013年-2014年 330-A地区 8R2Z ゾーン・チェアパーソン
 2014年-2015年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員
 330-A地区 キャビネット副幹事
 2015年-2016年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員
 330-A地区 キャビネット副幹事
 2016年-2017年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 副委員長
 2017年-2018年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員
 330-A地区 8R リジョン・チェアパーソン
 2018年-2019年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員長
 330-A地区 キャビネット会計/事務局長
 2019年-2020年 330 複合地区 ガバナー協議会運営委員会 委員
 330 複合地区 GMT 委員会 委員
 330-A地区 GMT コーディネーター
 2020年-2021年 330 複合地区 LCIF・緊急支援アラート委員会 副委員長
 330-A地区 LCIF キャンペーン 100 副コーディネーター
 330-A地区 LCIF 推進委員会 委員長
 クラブ会計
 2021年-2022年 330 複合地区 第68回年次大会実行委員会 委員長
 330-A地区 スペシャルティクラブ 副コーディネーター
 メルビン・ジョーンズ・フェロー 7回

■主なアワード

2016年-2017年	ボブ・コーリュー	国際会長感謝状
2017年-2018年	ナレシュ・アガワル	リーダーシップ賞
2018年-2019年	グドラン・ビョート・イングバドガー	リーダーシップ賞
2019年-2020年	ジュンヨル・チョイ	国際会長賞
2019年-2020年	同上	国際会長感謝状
※その他		
2017年-2018年	国際協会グローバルアクションチーム研修会	
2017年-2018年	330 複合地区会員オリエンテーション参加	
2019年	複合地区次世代リーダーシップセミナー参加	
大会参加歴	国際大会 10回 / OSEAL フォーラム 10回	
東京都赤十字血液センター(献血回数 37回実施)		
ソメイヨシノ発祥の地として東京巣鴨さくら支部結成(現在スポンサー歴 30人以上)		

減災対策座談会



330-A 地区ガバナー 中井 正力

一般社団法人日本防災教育振興中央会
代表理事 仲西 宏之 様

キャビネット減災対策プロジェクト
チームリーダー L 肥田野 晴三

日 時：2022 年 3 月 7 日(月) 16 時 30 分 ~17 時 30 分

場 所：小金井宮地楽器ホール

対談者：一般社団法人日本防災教育振興中央会 代表理事 仲西 宏之 様

330-A 地区ガバナー 中井 正力

キャビネット減災対策プロジェクトチームリーダー L 肥田野 晴三

中井ガバナーが今期の掲げている 3 つの主要事業である「減災対策」。

小金井での第 2 回減災対策公演会の直後に講師の仲西先生を交えてお話を伺いました。

■現実味を帯びてきた首都直下地震

L 肥田野 今日は減災対策座談会ということですが、なぜ「減災対策」を取り上げたのか、中井ガバナー(以下、中井 G)から説明をお願いします。

中井 G ライオンズクラブは災害列島化した日本の現況で、援助活動や支援活動に努めていますが、災害は他地区のことが多いです。しかし、現在は「30 年の間に 70% の確率で直下型地震が起こる」という他人事ではない環境下にあります。そこで、「自身や地区の防災の意識を高めて見直す」ことを、改めて皆様に考えていただくためにテーマにしました。

L 肥田野 それを受けて私が「減災対策プロジェクトチームリーダー」となり、具現化するために仲西先生に減災対策の講演会のお願いしました。1 回目が船堀(江戸川区)、2 回目が本日の小金井での講演会でした。さて、ライオンズクラブにおける減災対策の講演会を、仲西先生はどのような意気込みや思いで行ったのかを教えてください。

仲西先生 本日は会場の方々の熱量を感じ、真剣に聞かれているのが伝わって来ました。一人一人が繋げていかなければいけない思いであり、実際に災害が起こると信じられないようなことが待ち受けていて、人と人の繋がり以外に乗り切る方法はありません。

中井 G 講演の前に仲西先生の著書を読み、とても興味がある内容でした。その中の「怪我した時は自助である。救急車は来ない。」という内容を、昨年7月以降に行われた14箇所を回るガバナー公式訪問で伝えました。普通の生活では、「地震が起きて怪我をしたら救急車を呼べば良い」と思っているが、「実際の災害時に救急車は来ない」というインパクトがある話で掴みを得たと感じました。その後、肥田野リーダーと私に対して「クラブ例会で話をしに来てください」という依頼もありました。地震のことを考えていない人でも、話せば危機感はあると感じました。また、継続が大切で、頻度も一年に一度ではなく、9月（関東大震災）と3月（東日本大震災）の半年に一回は開催し、避難や準備を忘れないようにする体制が必要だと思います。



■地域のコミュニティとの連携は意識を変えるところから

L 肥田野 10月には地元のクラブの人たちに情報を広げて頂くためにRC、ZCを対象に東京臨海広域防災公園見学会を行いました。そして、公演会では、メンバーだけでなく、毎回40名～45名のノンライオンの方にもご参加頂きました。そこで、地域の住民の方々との連携は、具体的にどのようにしていけば良いのでしょうか。

中井 G 今日の講演に来ていただいた方が帰り際に、「価値のある活動をやっているね」と言っていたことが、大変ありがたかったです。地域の方々に私たちのアクティビティを見てもらうことが重要だと思います。第1回目の時にも新たにメンバーが1名入会しましたが、会員増強に繋げていく門戸を開くことも出来たと思います。

仲西先生 私の体験の話をします。神戸は地震が起こってから「地震の街」になりました。しかし、それまでは「日本一良い街で、天災なんかある訳ない」というのが神戸人の意識でした。災害が起こっても、「神戸がこれだから日本はもう終わったんだ」という視点でしか見る事が出来なかったというくらい、神戸は何もない（起こらない）街だと信じ切っていました。そこから色々なことがあり今に至っていますが、地域の方々と一緒に「自らのことに変える」という意識が一番大切だと思います。

■首都直下地震時には消防も救急も役所も全部被災者だ

L 肥田野 中井 G が考えていた重点テーマの一つである、「直下型地震に対する対応」は、アクティビティとしての感触はいかがですか。

中井 G 今日のセミナーではメモを取ったり、写真を撮ったり、仲西先生の講演をメモを取り記録に残す姿勢が見えたので、とても良かったと思います。人間は「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではないですが、まして仲西先生のように経験を持っているわけではありません。危機感や臨場感を植えつけて、常に考えていく毎日にしてもらいたい。「直下型地震は有る」という前提で立ち向かってもらいたいと同時に、周りの意識を変える先頭に立つてもらいたいと思います。冒頭に「釜石の奇跡」（7年がかりで教育した結果、亡くなった方がゼロ）の話がありましたが、やり方ひとつで「330-Aの奇跡」になるかもしれない。そこまで行き着くにはまだまだ距離があります。仲西先生には「無知」を防ぐ立場で講演していただき、命を繋げていく意味で役に立つのではないかと思います。

L 肥田野 各クラブが日頃から、近隣の一般の住民の方との情報交換や、減災、災害をテーマに集まることが重要ですね。

仲西先生 本当に重要です。私の経験では、大規模災害時には、消防も救急も役所も全部被災者です。地域の方々と助け合うしか方法がありません。あれから 27 年経ちますが、どの被災現場を見ても同様です。また、現実には災害当日よりもその後の 2 か月間どうするのが重要です。そして、その苦しみを乗り越える方法は、地域の方々との強い結束以外にはないのです。



■地震当日だけでなく、その後の何か月を生き抜くために

L 肥田野 減災のテーマは、誰に対しても皆共通の危機感を持ってもらう意味で、最高のテーマだったということでしょうか。

中井 G 首都直下地震の経済損失は 700 兆円と言われていますが、本日の公演会で、皆が頑張ることにより、300 兆円に減らすことが出来るという話がありました。災害の被害を自分たちで減らしていくことが出来ますが、突然出来ることではありません。準備や訓練が必要で、日本社会の経済にも大きく影響するので伝播していかなければいけません。

仲西先生 震災当時の神戸は、アジアでも有数のハブ港でした。以前の GDP に戻し復旧するのに 20 年かかりました。今現在の日本でも、6 位の港にしか復興できていません。一回の災害に対して、いかに油断があったかというのが、皆様に伝えたいことです。油断大敵で、天災は忘れた頃にやってきます。忘れることが一番怖いのです。

L 肥田野 講演会を行うことで、危機感を持たせ、意識の向上を図り、生きるための具体的な準備を行う。「三日ではなく、一週間生きてください」ということですね。

仲西先生 一週間どころか、現実は何ヶ月もの間、妻との会話は「何処にモノが売っているか」でした。近所の奥様方も同じでした。東京がもっと怖いと思うのが、絶対的な大物流の上に成り立っている都市だということです。もし、物流が全部遮断されたら、餓死者が出てくるような被害になってしまうので、コミュニティが非常に重要になってきます。

■ライオンズクラブの新たな共助の動き

中井 G この問題を取り上げて、いまライオンズクラブの中でどのような変化が出てきたのかを話します。ライオンズクラブは青少年育成、献血、献腎など象徴的な活動を行っています。しかし、同じような社会貢献を行っている他の団体との交流が、思いのほかありません。災害に対しては、社会福祉協議会という都道府県・市区町村と連携して「福祉のまちづくり」を目指している民間組織（ボランティアセンターが災害時の拠点になる）があります。ライオンズクラブ独自で出来ない部分は社会福祉協議会等との接点を作り、実態や実行の具体策を踏み込んでいかなければいけません。共催した GST 緊急対策・アラート・復興支援委員会 委員長 L 根岸氏は、最初は新宿区で、現在は東京都の社会福祉協議会と災害時の連携や減災活動を模索しています。このような取り組みが、新たに出てきました。

仲西先生 行政の立場で考えると、社会福祉協議会は復興に一番大事な災害ボランティアの窓口なので、現実的対応として良いと思います。

中井 G 個別のクラブで行っているところはありますが、330-A 地区として大きく前進させていく対策が必要だと思いました。まだ始まったばかりでこれからですが、新たな方向性が生み出されたと思います。

L 肥田野 減災の問題点は、対岸の火事のようになってしまう、本当に起こった時にパニックになってしまうことです。まずは自分の命を守る。次に家族の安否確認、そして、ライオンズクラブメンバーの安否確認と同時に、近隣の方々の安否も一緒に考えることが必要ですね。一方、公助は時間が経過してから援助が届くので、自助と共助で生きる手段を見つけなければいけない。

中井 G インフラを元に戻すには、2-3 ヶ月かかるというのが実態だと思います。

仲西先生 事前に行政にやってもらいたいのは、ある程度のコストをかけてインフラ補強を行っておけば壊れないので、インフラ復旧を短縮することができます。インフラに思い切ったコストをかけていくべきだと思っています。

L 肥田野 前回の公演会で、緊急避難所といえば学校の体育館などが一般的ですが、申請すれば自分の家でも緊急避難所になり、後々フォローがあるという話を聞きましたが、この制度について教えてください。

仲西先生 一家族ではなく、周りが集まり「ここは避難所です」と行政に登録をします。災害というのは、国や都が最終責任者ではなく、町や市、区が総責任者です。災害が起こった際に避難所になっていると被災後に申請すればよく、公的な食料や物資を貰うことが出来ます。過去に、「食料は避難所に行かなければもらえないのではないか」ということがありましたが、近くの方々が集まり避難所であると申請を行えば、人数分の食料が定期的に届けられます。しかし実際には、インフラ、交通網も止まってしまうので、思うように機能しない場合も想定しなくてはなりません。

■減災対策は具体的な行動に繋がるまで続けたい

L 肥田野 もし直下型の地震が起きた場合に、帰宅困難者など色々な問題が出てくると思いますが、ライオンズクラブやキャビネットとして、どのようなアクションが必要かガバナーの考えを教えてください。

中井 G まずはキャビネットとして、啓発を行っていく。具体的には、各クラブで話し合い地域に広げていく。そして家庭に持ち込む。一人一人が繋がっている話であると浸透させて、自覚を持ってもらうことが必要だと思います。講演の話の内容で、例えば、人が一日生活するのに必要な水は3リットルであるという基礎知識を家庭や地域に伝えるなど、各クラブ活動の実態が生まれることを目標にするべきではないかと思います。

L 肥田野 最後に中井 G から、今期残りが三ヶ月ほどになりました。「減災対策」のプロジェクトをどのように締めくくるのかをお話ください。

中井 G 今期で終わる話ではなく、災害が起こるまで続けなくてはならない課題です。ガバナーの任期は一年で7月には新たなガバナーが、そしてまた一年後にはまたガバナーが変わります。しかし切ってはいけないテーマなので、仲西先生には末長くライオンズクラブとお付き合いいただき、交流を深めながらライオンズクラブメンバーの「減災対策」の認知度を高めて、具体的な行動に持っていきたいです。

インタビュー後、多くの震災現場で活躍された仲西先生へ踏み込んで聞いてみました。

Q1: 11年前にアクティビティ先の池袋から歩いて帰宅した経験から、首都圏特有の帰宅困難者への対応が一番重要と思っています。どんな対策が必要でしょうか。

A: 数日で帰宅困難者の混乱は治ります。電車やバスが、動き出すまでのオフィス待機の徹底などで対応できる。ただ、家族との集合場所や連絡方法だけは決めておいてくださいね。本当に大事なことは、直下型地震の被災地になった場合に、長期戦に備えるための自助、そして共助（近隣コミュニティの育成）をしっかりと準備する。日頃からの挨拶などが減災になります。先ほども申しましたように3日分の備蓄で大丈夫とは言えないのです。

Q2: ライオンズクラブが全国で行う被災地への奉仕について最善策を教えてください。

A: 被災地への援助について、究極は、事業（仕事をつくる）を立ち上げる手助けが一番です。災害直後は、物品提供や心休まる娯楽的なコンサートなど様々なアクティビティは効果があると思います。行うなら単発の方が被災者のため、継続すると受け手も慣れがでてしまい、奉仕する側も資金やアイデアが枯渇してしまいます。その労力や資金を地域で働ける環境整備に使うことが大事だと思います。

東京ライオンズクラブ結成 70 周年記念式典を振り返って



1952 年 3 月 マニラホスト LC のスポンサーにより日本初のクラブとして結成された東京 LC はこのたび 70 周年を迎え、2022 年 3 月 19 日 帝国ホテルにて記念式典を行いました。コロナ禍でさまざまな制約がありましたが、お陰様で成功裡に終えることができ、メンバー一同安堵しております。

昨年 7 月に会長に就任して以来、先の見えない状況で如何に周年行事を行うのか、というのが新体制の最大の課題でした。特にオミクロン変異株が急拡大した後、開催自体を見送る意見も出たため、複数のプランを想定し、臨機応変に対応できるよう準備を進めました。個人的には、「開催しない」という選択肢は一番簡単ではありますが、緊急事態宣言下でない限りは、最大限の工夫のもとで、何か新しいやり方を模索したいと考えておりました。また、東京 LC として新しい試みを行うことが、他のクラブの周年行事において少しでも参考になれば、という思いもありました。

基本となったのは ICT(情報通信技術)の活用です。これまで東京 LC は ICT を駆使しているとは言い難い状況でしたが、これを機に 70 周年特設サイトにすべての情報を一元的にまとめるとともに、ご祝辞も全て事前収録した映像を流すことにしました。ご来賓ご本人がその場にいらっしゃるにもかかわらず、簡単なお紹介だけで、お祝いメッセージは放映、というやり方は、失礼とも考えられますが、①ご発声を極力減らすという感染対策に即していること、②万一の当日キャンセルにも対応できること、③お越し頂けなかった多くの関係者にもお届けできること、④進行時間が正確に読めること、といったメリットがあり、結果的には大変いい結果をもたらしました。

また、従前、数十ページにわたるプログラムを当日配布していましたが、8 ページに簡略化し、QR コードでホームページの特設サイトにつながるようにしました。これまでプログラムの情報量が多かったのは、結成以来の情報を毎回盛り込んでいたことが要因ですが、70 周年に至るまでの記念映像（和文・英文）とともに過去の周年式典資料をアーカイブズとして開示したことで、当日配布資料をシンプルにし、校正作業の効率化や印刷費用の削減を図ることが出来ました。

こうした準備を進め、いよいよ機運が高まってきた折、まん延防止等重点措置延長が決定しました。開催についての問い合わせが増えたため、出席予定者に対し、万全の対策のもと予定通り執り行うがキャンセルに対しては柔軟に対処する旨の再案内を発出したことも、極めて異例と言えるでしょう。

式典終了後、各方面から、開催の決断、万全の感染対策、映像多用等の工夫、西村康稔 前経済再生・コロナ対策担当大臣による時宜を得た講演、オリジナリティに溢れたサンドアート・パフォーマンス等についてたくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。日本で最初に 70 周年を迎えるクラブとして、多くの方々のご協力のもと、周年行事を無事開催できたことに感謝いたしますとともに、「出席してよかった」と口にして頂けたことに深い感慨を覚えます。

通常であれば数百人の国内外関係者をお招きするところ、現況に鑑み大幅に規模を縮小せざるを得なかったことを大変心苦しく存じます。当日、ご多忙の折、又まん延防止等重点措置発令中にもかかわらずご出席くださった皆様にこの場をお借りして重ねて御礼申し上げますとともに、直前の大地震でキャンセルを余儀なくされた北海道・東北地区の方々に改めてお見舞い申し上げます。

最後になりましたが、このたびの式典開催に際し、キャビネット出向時の仲間から多くのサポートを頂きました。ライオンズクラブを通じた数々の出会いに感謝しております。有難うございました。

東京ライオンズクラブ会長 L 荒牧 知子



70 周年記念アクティビティは、5 年前にミャンマー ヨーグア校に寄贈したパソコン教室や日本盲導犬協会等への継続支援事業と、深川のアートパラ芸術祭（帝国ホテル会場にメンバーが選んだ絵画 15 点を展示）等への地域支援事業計 7 件を実施しました。

TOKYO 多摩-26市 (防災・避難地図 各市HP)

This list is a portal site on an earthquake refuge map of Tokyo TAMA-26City.



2 3区避難場所 地図・一覧	東京都 備蓄ナビ (Japanese・English)
避難場所等の概要 東京都都市整備局 (tokyo.lg.jp)	https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp/
都庁防災HPページ(Metro Tokyo)	https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/
国土交通省防災(Mlit)ポータルサイト	https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/

← 例) 八王子市の防災・避難地図 ↓↓↓ 在住在勤地区のURLをクリックしてください

5.青梅市 5.Oume	24.羽村市 24.Hamura	21.武蔵村山市 21.Musashimurayama	18.東和町 18.Higashiyamato	13.東村山市 13.Higashimurayama	20.東久留米市 20.Higashikurume	26.西東京市 26.Nishitokyo
25.あきる野市 25.Akiruno	16.福生市 16.Fussa	2.立川市 2.Tachikawa	14.国分寺市 14.Kokubunji	11.小平市 11.Kodaira	10.小金井市 10.Koganei	3.武蔵野市 3.Musashino
7.昭島市 7.Akishima	1.八王子市 1.Hachioji	12.日野市 12.Hino	15.国立市 15.Kunitachi	6.府中市 6.Fuchu	23.稲城市 23.Inagi	4.三鷹市 4.Mitaka
9.町田市 9.Machida	22.多摩市 22.Tama	23.稲城市 23.Inagi	22.多摩市 22.Tama	23.稲城市 23.Inagi	23.稲城市 23.Inagi	8.調布市 8.Choufu
19.清瀬市 19.Kiyose	19.清瀬市 19.Kiyose	19.清瀬市 19.Kiyose	19.清瀬市 19.Kiyose	19.清瀬市 19.Kiyose	19.清瀬市 19.Kiyose	17.狛江市 17.Komae



2022.4.
<https://330a.jp/> 作成：3 3 0 -A (TOKYO)

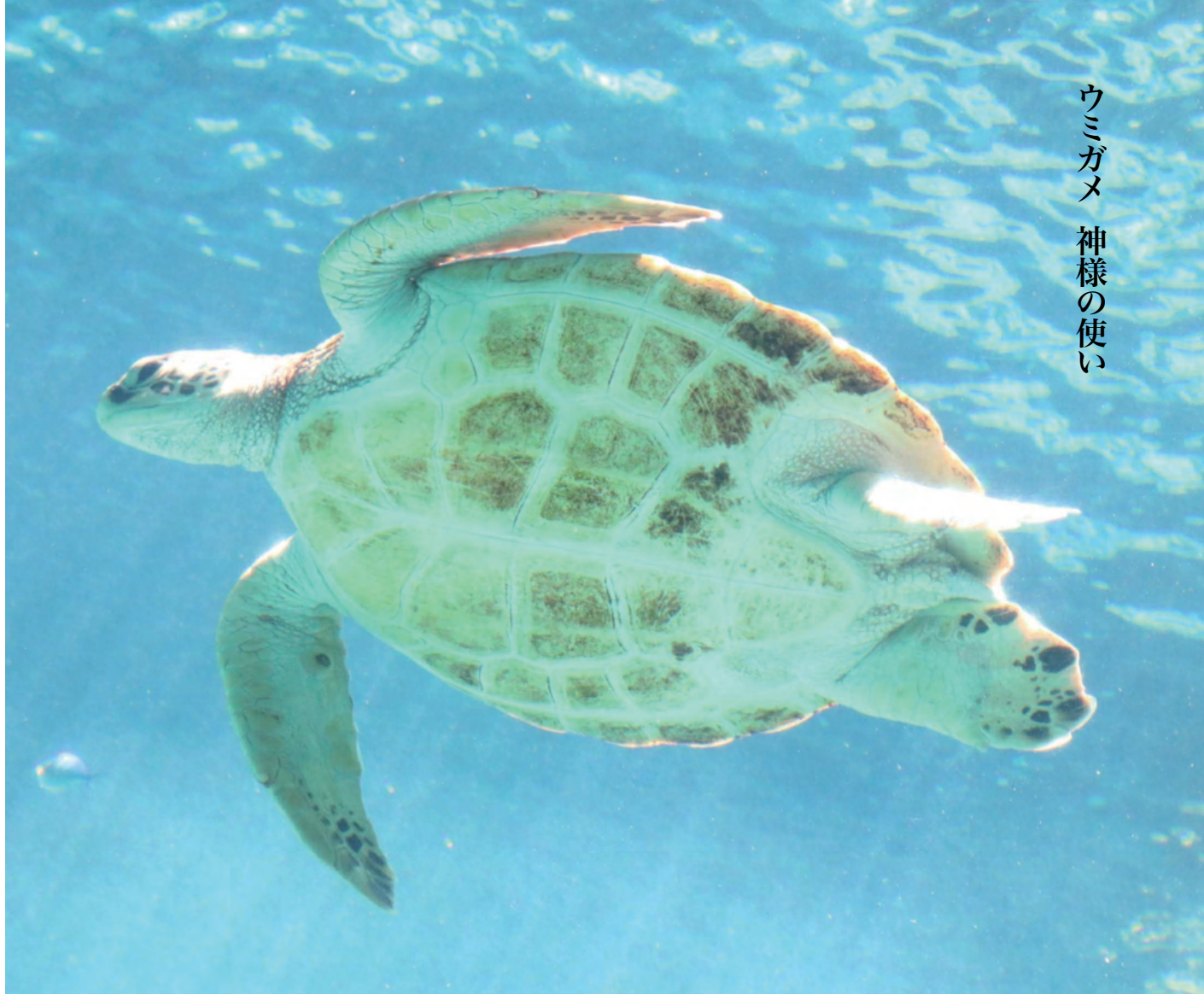
TOKYO 多摩-26市(防災・避難地図 各市HP)

This list is a portal site on an earthquake refuge map of Tokyo TAMA-26City.

1	八王子市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/9fb0f5022f91ce39b464935b63f723f8.pdf	1.Hachioji
2	立川市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/6d50f05454a438fa92f5056f5e1d49c8.pdf	2.Tachikawa
3	武蔵野市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/42264e13644680e545b1f854ca444b08.pdf	3.Musashino
4	三鷹市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/db2e1605f0e20d234263102089b09f1e.pdf	4.Mitaka
5	青梅市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/61ad0fe0971d22de71c3d8428b866281.pdf	5.Oume
6	府中市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/2e23919fd14f67f77ce4ee339c9568c0.pdf	6.Fuchu
7	昭島市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/4d1a2c44bb5a2c71eab359e8678e51ba.pdf	7.Akishima
8	調布市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/0f445912c90029d4c9b9c8f07ae08313.pdf	8.Choufu
9	町田市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/08f00f5e632e017aa09be0b076c67960.pdf	9.Machida
10	小金井市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/23cd0e1f6fd025ef57d5e7235aa89f2.pdf	10.Koganei
11	小平市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/10a103ccc1d07218e812640ef0f37e6.pdf	11.Kodaira
12	日野市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/9a4cc160e7b975cc6141d2cae1d20311.pdf	12.Hino
13	東村山市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/395ce0c40de97c6a8f3435d7f115e6f5.pdf	13.Higashimurayama
14	国分寺市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/54af0dd0b38f355f47f7d1213e84c9bc.pdf	14.Kokubunji
15	国立市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/91349769451c8eddb62d5aaf15e2d0c5.pdf	15.Kunitachi
16	福生市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/37e646d30d28bd591784faa0cb3c0bbd.pdf	16.Fussa
17	狛江市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/c0e142f5b3e566be23dd24f78fa18bcb.pdf	17.Komae
18	東和町	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/fcabaa3188c488065508e7d1f85cbda1.pdf	18.Higashiyamato
19	清瀬市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/d12a97af272c382286e0aef267a0e44e.pdf	19.Kiyose
20	東久留米市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/835c6b804fc191096cca43fe8a106184.pdf	20.Higashikurume
21	武蔵村山市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/167d148015377cf47089108e5635bf25.pdf	21.Musashimurayama
22	多摩市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/d85559006d3b8b179b22ad1384653c85.pdf	22.Tama
23	稲城市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/132c668625c60f24092ac56267f1a37d.pdf	23.Inagi
24	羽村市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/1fab64cbbd2962f492a30eb063ba02a.pdf	24.Hamura
25	あきる野市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/59b1c356cb22a78525aae7866f9199cdc.pdf	25.Akiruno
26	西東京市	https://330a.jp/wp-content/uploads/2022/04/06aa2a70ab0e832e9235720cd12d828a.pdf	26.Nishitokyo

2022.4.

<https://330a.jp/>
作成：3 3 0 -A (TOKYO)



編集後記

4月に入り、桜も咲き乱れ、春の陽気になってきました。

新年度に入り、活気に満ちている中、世界では悲しい出来事も起きています。ライオンズクラブでは、「ウクライナ難民支援募金」活動も新たに行われています。社会、世界が必要とする全方位にわたる奉仕活動をタイムリーに次々と行っています。

また、先月3月16日には福島県沖を震源地とする最大震度6強の地震が発生しました。4月に入った今も各地で地震が発生しています。災害は我々にとって身近な脅威となっています。誰しもがいつ何時でも対応できる知識を持ち、物資などの準備も必要です。ライオンズクラブでも「減災・防災対策」に力を注いできました。より広く「減災・防災」に対する意識を高めていけるよう、更なる活動をしていかなければならないと私個人も強く感じました。

そして、4月23日には東京プリンスホテルで第68回年次大会が開催されます。コロナ渦ということもあり会場を3つに分け、当日は全会場をZOOMで繋ぎ、各会場の投影を行います。ライオンズクラブは時代の流れに合わせてこれからも奉仕の活動を進めてまいります。

ライオンズクラブのチームワークを発揮して、新年度も様々なアクティビティを進めていきます！

キャビネット事務局デジタル推進・広報室 L 坪坂有純

キャビネット事務局デジタル推進・広報室

L 坂本 純一	室 長	東京三鷹 LC	L 細田 未央	室 員	東京表参道 LC
L 小野 健志	副室長	東京ピース LC	L 新井 大介	室 員	東京新宿 LC
L 吉岡 晋	副室長	東京けやき LC	L 坪坂 有純	室 員	東京新宿 LC
L 桂 太郎	副室長	東京世田谷 LC	L 三代 勝之	室 員	東京スバル LC
L 河田 淳一	室 員	東京平成 LC	L 石田 賢	室 員	東京三鷹 LC
L 庄司 芳樹	室 員	東京新橋 LC	L 森田 雅洋	室 員	東京三鷹 LC
L 茂岡 幹弥	室 員	東京白門 LC	L 山本 元気	室 員	東京調布 LC
L 石橋 卓磨	室 員	東京稲門 LC	L 坪谷 茂	アドバイザー	東京平成 LC
L 秋月 誠	室 員	東京飛翔 LC	L 赤尾 嘉晃	アドバイザー	東京豊新 LC
L 岩村 貴成	室 員	東京けやき LC			



電子版

ライオンズ国際協会 330-A地区 ライオンズニュース VOL.5 発行人:キャビネット事務局デジタル推進・広報室室長L坂本純一

発行:2022年5月

20220501

Copyright 2021-22 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.